

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成28年5月12日 (2016.5.12)

【公表番号】特表2014-508339(P2014-508339A)
 【公表日】平成26年4月3日 (2014.4.3)
 【年通号数】公開・登録公報2014-017
 【出願番号】特願2013-547506(P2013-547506)
 【国際特許分類】

G 0 6 Q 30/02 (2012.01)

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

G 0 6 F 3/048 (2013.01)

【F I】

G 0 6 Q 30/02 1 5 0

G 0 6 F 17/30 3 8 0 D

G 0 6 F 17/30 1 7 0 Z

G 0 6 F 3/048 6 5 4 A

【誤訳訂正書】
 【提出日】平成28年3月17日 (2016.3.17)
 【誤訳訂正 1】
 【訂正対象書類名】特許請求の範囲
 【訂正対象項目名】全文
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

キーワード・サーチ問い合わせ結果グラフィカル・ユーザー・インターフェースのためのコンピューター実行可能命令を格納する 1 つ以上のコンピューター記憶ハードウェア・デバイスであって、前記ユーザー・インターフェースが、

ユーザーのキーワード・サーチ問い合わせを受けることができるキーワード・サーチ問い合わせ入力エリアと、

少なくとも 1 つのサーチ結果エリアであって、各々、受けたユーザー・キーワード・サーチ問い合わせに関連するインターネット・ウェブ・ページ・リンクと、対応するテキストとを表示する、サーチ結果エリアと、

前記少なくとも 1 つのサーチ結果エリアとは分かれた少なくとも 1 つのサーチ広告エリアであって、各々、特定の製品またはサービスと関連しかつインターネット・ウェブ・ページ・リンクとこれに対応するテキストとを含む広告を表示する、サーチ広告エリアと、を含み、

ユーザーの前記広告エリアとの対話処理によって、前記広告エリアに近接して広告ヒントが現われ、

前記広告ヒントが前記広告に関係して、前記広告ヒントのコンテンツが、前記ユーザーが対話したヒント使用可能広告に特定のものとなるようにし、

前記広告ヒントが、前記広告に関連するロゴ、製品、ウェブ・ページ、または代弁者の画像であり、前記広告ヒントが、ユーザーによって選択されると前記広告に関連する動作を実行するかまたはユーザーを前記広告に関連するウェブサイトにナビゲートするアクション・リンクを含む、

1 つ以上のコンピューター記憶ハードウェア・デバイス。

【請求項 2】

請求項 1 記載のデバイスにおいて、前記広告ヒントが、前記広告に含まれていなかった

追加のテキスト・コンテンツを含む、デバイス。

【請求項 3】

請求項 1 記載のデバイスにおいて、前記ユーザーの対話処理が、前記広告エリアの上方において選択インディケータをホバリングさせることである、デバイス。

【請求項 4】

請求項 1 記載のデバイスにおいて、前記広告エリアが、ユーザーの前記広告エリアとの対話処理において、前記広告ヒントが対応する広告をユーザーが容易に特定できるように強調される、デバイス。

【請求項 5】

請求項 1 記載のデバイスにおいて、ユーザーの対話処理によって広告ヒントが現われる広告を含む各サーチ広告エリアが、前記ユーザーの対話処理の前に、ヒント使用可能として示される、デバイス。

【請求項 6】

請求項 1 記載のデバイスにおいて、前記広告ヒントが、前記広告エリアの右側に近接して表示される、デバイス。

【請求項 7】

請求項 1 記載のデバイスにおいて、前記広告ヒントが、前記広告エリアと重なり合う、デバイス。

【請求項 8】

請求項 1 記載のデバイスにおいて、前記広告ヒントが、前記広告エリアの下に表示され、前記広告ヒントが表示される前記サーチ広告エリアの下にある他のサーチ広告エリアが、前記広告ヒントを収めるために下に動かされる、デバイス。

【請求項 9】

広告ヒントを提供する方法を実行するためのコンピューター実行可能命令を格納する 1 つ以上のコンピューター記憶ハードウェア・デバイスであって、前記方法が、

ユーザーからサーチ問い合わせを受けるステップと、

前記サーチ問い合わせに関連する複数のウェブ・ページを特定するステップと、

ユーザーの広告との対話処理によって、前記広告に近接して広告ヒントが現われるようにヒント使用可能である広告を特定するステップと、

前記ユーザーの問い合わせに関連する特定されたウェブ・ページおよび特定されたヒント使用可能広告の内少なくとも 1 つを含むサーチ結果ページを生成するステップと、

ユーザーの前記ヒント使用可能広告との対話処理の指示を受けるステップと、

前記ユーザーの対話処理の指示を受けたことに応答して、前記広告に近接して前記広告ヒントを表示する命令を送るステップであって、前記広告ヒントが前記広告に関係して、前記広告ヒントのコンテンツが、前記ユーザーが対話した前記ヒント使用可能広告に特定のものとなるようにする、ステップと、

を含む、

前記広告ヒントが、前記広告に関連するロゴ、製品、ウェブ・ページ、または代弁者の画像であり、前記広告ヒントが、ユーザーによって選択されると前記広告に関連する動作を実行するかまたはユーザーを前記広告に関連するウェブサイトナビゲートするアクション・リンクを含む、

コンピューター記憶ハードウェア・デバイス。

【請求項 10】

請求項 9 記載のデバイスにおいて、前記広告ヒントが、前記広告に含まれていなかった追加のテキスト・コンテンツを含む、デバイス。

【請求項 11】

請求項 9 記載のデバイスにおいて、表示される前記広告ヒントが、前記ユーザーの対話処理の指示を受けたことに応答して動的に生成される、デバイス。

【請求項 12】

請求項 9 記載のデバイスにおいて、前記広告が、当該広告が作られた時点において、ヒ

ント使用可能として指定された、デバイス。

【請求項 1 3】

請求項 1 2 記載のデバイスにおいて、前記表示された広告ヒントが、前記広告が作られた時点において指定された、デバイス。

【請求項 1 4】

請求項 1 2 記載のデバイスにおいて、前記広告が、複数の関連する広告ヒントを有し、前記ユーザーの対話処理の指示を受けたことに応答して表示された前記広告ヒントが、前記受けたユーザーのキーワード・サーチ問い合わせに依存する、デバイス。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 3】

[0029] サーチ広告 3 0 9 は、ヒント使用可能広告(hint-enabled advertisement)である。図 2 におけるサーチ広告 2 0 9 および 2 1 5 のような従来のサーチ広告とは対照的に、ヒント使用可能広告の広告エリアとユーザーが対話処理すると、広告エリアに近接して広告ヒントが現われる。この広告ヒントは、広告に関係がある。図 3 では、ユーザーが広告エリア 3 0 4 と対話処理して、広告エリア 3 0 4 に近接して広告ヒント 3 3 0 を現われさせた。広告ヒント 3 3 0 は、広告に関係する任意のものであればよく、広告に関連するロゴ、製品、ウェブ・ページ、または代弁者の画像が含まれる。例えば、自動車会社が広告 3 0 9 を掲載した場合、広告ヒント 3 3 0 は、宣伝している車種、または自動車製造会社のロゴの画像とすることができる。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 3 2】

[0038] 図 5 において、ユーザーは広告エリア 5 0 4 と対話処理を行った。広告エリア 5 0 4 との対話処理によって、広告エリア 5 0 4 が拡大し、この拡大した広告エリア内に広告ヒント 5 3 0 を現われさせ、更に拡大した広告エリアを収めるために広告エリア 5 1 0 ならびにサーチ結果エリア 5 1 6 および 5 2 2 を下に移動させた。また、図 5 におけるユーザーの対話処理によって、広告エリア 5 0 4 に外枠が付けられ、広告ヒント 5 3 0 が広告エリア 5 0 4 に関連することを示す。一実施形態では、広告ヒント 5 3 0 は、広告 5 0 9 に含まれなかった追加のテキスト・コンテンツである。このような実施形態では、広告ヒント 5 3 0 は、テキスト概要 5 0 8 の続きであってもよく、広告 5 0 9 のテキスト概要 5 0 8 が単に広がったとユーザーに思えるようにしてもよい。図 3 に関して説明したように、広告ヒント 5 3 0 は、広告に関係する任意のものであってもよく、広告に関連するロゴ、製品、ウェブ・ページ、または代弁者の画像を含む。また、広告ヒント 5 3 0 は、アクション・リンクも含むことができる。アクション・リンクは、ユーザーによって対話処理が行われると、動作を実行するか、あるいは広告に関連するウェブサイトまたはウェブ・ページにユーザーをナビゲートする。広告エリア 5 0 4 は図 5 では下に広がるように示されているが、広告エリア 5 0 4 は、広告ヒント 5 3 0 が拡大された広告エリアにおける任意の位置に位置付けられてもよいように、任意の方向に広がることできる。